

## Web 講演会 (オンデマンド配信)

# 日精診依存症対策プロジェクトチーム主催 「自助グループを知る」講演会

申込受付期間：令和3年9月1日(水)～10月7日(木) 正午まで

動画公開期間：令和3年9月7日(火)～10月7日(木) 23時59分まで

参加費：無料 ※お手持ちの視聴する機器(パソコン・スマートフォン・タブレット等)で視聴いただく講演会です。

単 位：日本精神神経学会単位・日本専門医機構単位(精神科領域講習) 申請予定

参加申込方法：当協会HP(<http://www.japc.or.jp/>)の申込フォームより申し込みください。

申込時ご記入のメールアドレス宛に動画配信サービスMOOGA([mooga@wan55.co.jp](mailto:mooga@wan55.co.jp))よりサイトのご案内が届きます。「[mooga@wan55.co.jp](mailto:mooga@wan55.co.jp)」からの案内メールを受信できるよう予め設定をお願いいたします。

※個人情報の取扱い：当講演会に関する個人情報は、1.氏名、2.メールアドレス、3.電話番号です。これらの個人情報は、講演会の実施運営に関する管理・連絡および手続きに利用いたします。また、業務の遂行以外においては個人情報を第三者に提供いたしません。但し、法律上開示すべき業務を負う場合や、受講者本人の生命、身体、財産その他の権利利益保護のために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に第三者に個人情報を提供する場合があります。

### 参加注意事項

本講演会の申込、視聴にあたっては、下記注意事項の全文をお読みいただく必要がございます。本講演会に申込し、視聴された場合は注意事項に同意したものと判断させていただきます。

- ・視聴する機器はご自身でご用意ください。
- ・視聴は通信状況の良い場所で行ってください。動画の再生不良、再生停止等の現象が起こることがあります。
- ・視聴には多くのデータ使用量を要します。パソコン・スマートフォン・タブレット等の端末で視聴される際は、Wi-Fi 環境での視聴を推奨しております。
- ・申込者個人のデータ使用量の契約・通信サービス料に関わる一切の事項についての責任は負いかねます。契約内容・料金等につきましては、各端末・通信サービスの契約先にお問合せください。
- ・この動画を無断で、複製、改変、放送、賃貸業(レンタル)、インターネット等による公衆送信、公の上映等を行うことは法律によって一切禁止されています。録画・録音・撮影、および配布資料の2次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。
- ・申込者には動画視聴用のログイン用メールアドレス(若しくはID)及びパスワードを発行します。申込者以外がログイン用メールアドレス(若しくはID)及びパスワードを使用することはできません。申込者はログイン用メールアドレス(若しくはID)及びパスワードを貸与、名義変更、譲渡、売買等することはできません。
- ・配布資料は各自ダウンロードしてください。印刷して郵送、メール添付での送付はいたしません。
- ・精神科専門医単位希望の先生におかれましては、動画視聴サイトへのログインと再生ログが確認できない場合は単位の付与はできませんので、予めご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

開会挨拶 三木 和平 ((公社)日本精神神経科診療所協会会長)

来賓挨拶 諏訪 克之 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 依存症対策推進室長)

### シンポジウム

#### 「自助グループの機能と役割」

上村 敬一 (依存症対策プロジェクトチーム委員/うえむらメンタルサポート診療所院長)

#### 「自助グループがくれた奇跡と生き直しの意味」

渡邊 洋次郎 (リカバリハウスいちご生活支援員)

#### 「私だって回復できた！自助グループの力」

Rico (自助グループメンバー)

#### 「薬物依存からの回復のプロセス」

辻本 俊之 (NPO 法人埼玉ダルク施設長)

#### 「家族ぐるみの病気」を「家族ぐるみの回復」へ」

田辺 暢也 (京都断酒平安会家族会みやび)

### 総合討論

閉会挨拶 上ノ山 一寛 ((公社)日本精神神経科診療所協会副会長)

(敬称略)

#### 資料のデータ配布有り

※資料は、配布を希望するシンポジストのみの資料です。ご了承ください。



問い合わせ先：(公社)日本精神神経科診療所協会事務局 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-38-2 ミヤビル 7F

TEL:03-3320-1423(受付:平日午前11時～午後4時) E-mail:office@japc.or.jp

主 催：(公社)日本精神神経科診療所協会 依存症対策プロジェクトチーム